教育フィールド研究の概要紹介
１年生から入る学校現場

- 早い段階から学校現場を経験して、理論と実践の往還を図る目的で導入された１・２年生の教育フィールド研究が平成18年から開始されました。小中学校での受け入れ体制と指導内容を体系化がされ、１日のスケジュールと年間計画をもとに実施されています。1年次は運動会等の行事準備から始まり、授業観察・学級経営観察や児童理解の時間も取るようになっています。運動会後はかなりの学校において、学級や学年に固定的に入ります。
- 春から冬まで１年間学校に関わることで、年間行事や学級活動および子どもの長期的な成長と教育の継続性の重要性をとらえることができます。また、様々な学級指導・学習指導を観察していくことで、長期的には多様な指導方法を会得することができています。

教育フィールド研究の様子（１）

- １・２年生において毎週金曜日朝から１日市内の小中学校に入って教育現場を見たり、教育実践経験を行います。このような実践的な取り組みと大学の理論的な学びを関連づけて学習していきます。

授業観察の様子

教育フィールド研究の様子（２）

休み時間での子ども達とのふれ合い